

当機構における新型コロナウイルス感染者の発生について

令和4年4月6日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター(岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地)の原子力施設で施設管理業務に従事している請負企業の作業員1名が、新型コロナウイルスに感染したことが4月5日(火)に確認されました。

当該作業員(50代・男性)は、保健所より感染者(同居家族)の濃厚接触者であるとの連絡を受け、PCR検査を受検した結果、感染が確認されたものです。なお、当該作業員は、原子力施設の施設管理業務に従事しておりますが、代替要員により安全管理体制を確保しているため、原子力施設の保安維持に影響はありません。

当機構におきましては、通常の感染防止対策に加えて、当該作業員の感染が疑われた時点で、感染の拡大を防止するため追加的に以下の対応を講じています。

- ・当該作業員が業務をしていた居室、施設等の消毒を徹底
- ・当該作業員と接触していた従業員等の自宅待機指示及び健康状態の経過観察

今後も、保健所の指導のもと当機構内外への感染拡大の防止と原子力施設等の安全確保を最優先に関係各所と連携し、適切に対応してまいりますとともに、当機構従業員及び請負企業作業員等の健康状態把握と感染防止対策の徹底に努めてまいります。

感染者やその御家族の人権尊重・個人情報保護に御理解と御配慮をお願いします。